

農 山 漁 村 地 域 整 備 計 画 事 前 評 価 調 書

計画の概要	計画の名称	栃木県 緑豊かな森林、安全・安心な県土づくりのための整備計画 (令和元(2019)年度～令和5(2023)年度)(5年間)
	計画策定主体	栃木県
	対象市町村	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、 矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、益子町、茂木町、 市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、塩谷町、高根沢町、那須町、那珂川町 (14市11町)
	計画期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度(5年間)
	計画の目標	「とちぎ森林創生ビジョン」でかかげる本県の森林・林業・木材産業に関する基本的かつ総合的な計画を踏襲し、農山漁村地域整備交付金を有効かつ効果的に活用した目標設定をする。 具体的には、成熟してきた森林資源の循環利用の促進、森林整備事業による路網整備をすすめるとともに、花粉症の罹患率が高い本県の県民ニーズに対応するための少花粉スギへの転換を図る等により森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、安全・安心な県土づくりに資する。 更に、荒廃地の復旧整備や荒廃森林の整備を行うなど、積極的に山地災害危険地区対策を推進することにより、森林の持つ水土保持機能を向上させ山地災害の未然防止を図るとともに、森林の多面的機能の維持・増進を図る。
	評価指標	山地災害危険地区整備着手箇所数 25箇所／年間(125箇所) 花粉発生源林の植替面積の増加 150ha → 415ha 林道施設の点検診断の実施 57路線 → 104路線 林道の橋梁修繕対策の実施 1路線 → 19路線
	対象事業	森林整備事業、治山事業
全体事業費	6,106,000千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「とちぎ森林創生ビジョン」に定める事業目標と整合性がとれている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である「森林資源の循環利用の促進」、「森林の有する多面的機能の維持・増進」、「山地災害の未然防止」に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適切な定量的指標の設定となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	「山地災害危険地区整備着手箇所数の増」等により事後評価できるものとなっている。
	3 構成事業の実施による効果の評価するための指標として適切なものとなっているか	○	「森林整備事業」、「治山事業」の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	計画地の条件・事業に必要な条件・事業費等、実施可能な計画となっている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者からは同意または理解を得られている。
評価結果	<p>評価 I 事業を実施評価</p> <p>評価 II 計画の見直し</p>		<p>[評価基準]</p> <p>「評価 I」は全項目に○印がついている</p> <p>「評価 II」は1項目でも×印がついている</p>